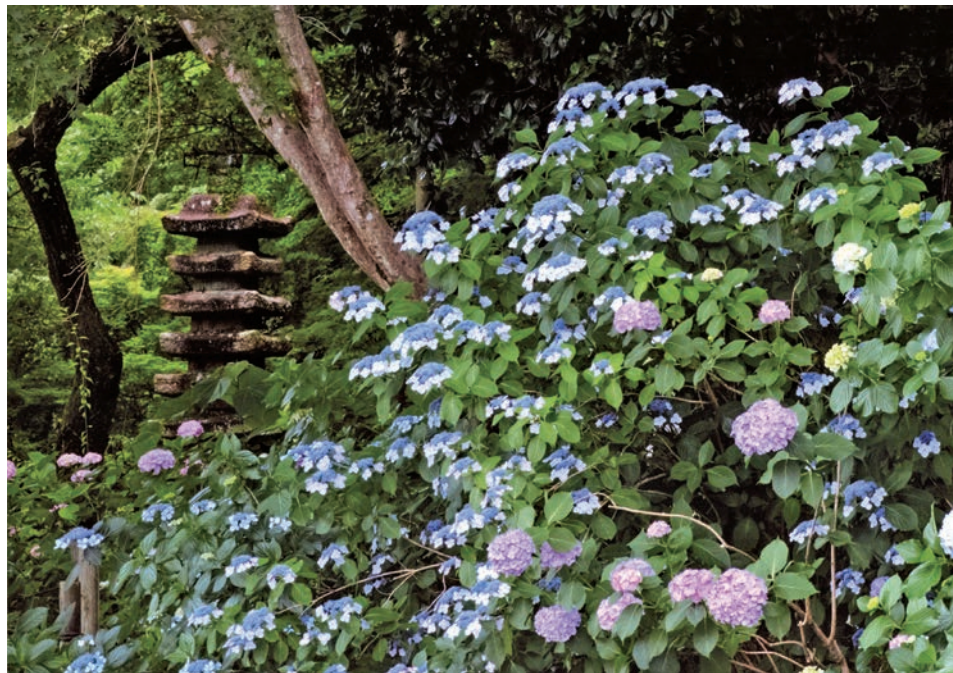




「深 緑 の 彩 り」

あじさいの部 銀賞 八王子市 西宮 浩司



客 殿 の 建 て 替 え

別格本山高幡山金剛寺 貫主 杉 田 純 一

高幡山明王院金剛寺は清和・陽成両帝勅願の由緒を伝え、関東三不動の元木の不動尊として称えられし霊刹なるも、江戸時代安永八年（一、七七九）業火の襲う事となり、総本堂・大師堂・聖天堂・奥院伽藍十数棟を灰燼に帰し、中興儀海上人以来の貴重な聖教類の大半を失いました。その後歴代の住職の努力により境内の伽藍もようやく整備出来、五重塔をはじめとして鐘楼堂・総本堂大日堂、先代川澄祐勝大僧正には総合受付所宝輪閣、五部権現社殿の移築、不動三尊の修復、奥殿建設、新丈六不動三尊造立、行堂続いて大師堂・聖天堂を建設し、境内の輪奐も整いました。

あとは昭和四十一年より四十七年に建てられた客殿・寺務局の再建工事のみとなりました。客殿は雨漏りが激しく、またエレベーターがないため、檀信徒の皆様方には階段を使い三階までの移動に大変ご苦労をいただいております。

また最近は今和六年一月に能登半島に起きました大地震等、災害が増えている中、耐震設備がない状況に大変苦慮しています。

依って当山では檀信徒の皆様方が安心して使用できるよう本年度から新客殿・寺務局の本格的再建工事にとりかかることになりました。檀信徒の皆様方におかれましても工事の趣意をご賢察の上、格段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

お不動さまの心―(二二五)― 現代の世相から(88) 廣澤隆之

昨年からの米の値段がニュースにならない日はないほど、連日テレビや新聞は米の価格について報道しています。記憶が定かではありませんが、昨年の夏頃、政府は新米が出れば価格は下がると発表していたはずですが、しかし実際には新米が出回ってから、さらに価格が上がり続けました。新聞やテレビなどでは識者やコメンテーターといわれる人たちがさまざまな見解を述べています。そういった人たちの意見を聞いてみて、改めて農業政策の問題の根深い問題を考えさせられました。また生産者から消費者に渡る米の流通過程で決められる価格の仕組みも見直される必要があるともいえるでしょう。さらに農業改革を主張する人たちは大規模農業への転換、株式会社化が農業に参入する仕組みの変更なども訴えています。たしかに現在の米作りは生産性ということでは問題があるでしょう。また兼業で米作りをしている多くの農家に後継者がいないことも深刻な問題でしょう。

このような農業に関するさまざまな問題を解決する考えを私はもちあわせていません。というのも農業の実状や作物の流通の仕組み、中間業者の組織などについて私には知識が決定的に欠けているからです。軽々に言えない深刻な問題であると憂えるばかりです。テレビのワイドショーなどでも、にわか仕入れた浅い知識で評論している人が多いように思えます。そして庶民は困っていると憤慨するのです。それがあたかも正義であるかのようにして。しかしそこで困っている庶民というのは米を買う消費者のことであり、その代弁をしているように思えます。米を作っている農家の人たちも困っている庶民のほうですが、そちらへの配慮が欠けていることが多いように思えます。消費者だけでなく農家も大変なのであると強く訴え、農家にもエールを送ってほしいものです。

米だけでなく、他の穀物や野菜でもそうですが、農業に従事する仕事は肉体を酷使するわりには収入が少ない現実を知る必要があると思います。収入が少なく、泥まみれになつて働く両親を見て、若者がその辛い環境から逃げ出して都会での生活をしたくなることも無理からぬことです。そして都会に住む人はややもすると農家の現実を見ることなく、消費することに汲々としてしまいがちです。しかも生命を保つ食糧が生み出される源を知ることが忘れられているように思えます。精米され袋に詰められ店頭に並ぶ米を思い浮かべることはあっても、稲作などにおける農家の大変な作業に思いいたすことはなくなりました。

かつて子供たちは米作りが大変であることを大人から教えられ、あるいは実際に経験し、貴重な米粒を大切にすることを躰けられ、ご飯茶碗に米粒がついたまま食事を終えるときびしく叱られたものでした。そして「米」という字は「八十八」という文字でできており、米作りには八十八の手間がかけられていると教えられました(実際には「米」という字は四方に米粒が散った様子を表す象形文字が起源です)。このような昔の人の米への特別な思いは失せ、食料品として消費の対象となるだけで、その生活に深い意義づけがされていったことを忘れてしまったようです。



愛宕大権現

さらに米を主食とする食文化では、稲作に欠かせない水にも深い思いが働きました。そもそも山で湧いた水が農地に引かれ、水田が作られます。それゆえ水源地である山は特別な意味づけがされます。そうとされました。そして長い年月を経るとその魂は祖霊というカミになります。この山にいるカミは春になると山から下ります。それは里で花が咲く頃です。そこで人々はカミが集う花の下で食の宴を開きカミを迎え、田へと送りまします。カミは稲を実らせ秋にまた山へと戻ります。その折には感謝の祭りをします。新嘗祭もその一つの形です。神々が帰ったことは山の紅葉に見られます。古来日本人が春の桜と秋の紅葉に外国では見られない情感を抱くのもこのような祖霊信仰と食文化にもとづきます。

今、私たちは肉体を酷使することなく、食べ物を手に入れます。苦勞するのは食物を手に入れるお金への配慮ばかりです。たしかに米の価格が高騰すれば家計は逼迫します。しかしほんのわずかの配慮でも生産農家にめぐらし、食べに支えられていることに思いをめぐらしたいものです。

さまざまな縁によつて私たちの口に運ばれる食べ物には仏の恵みです。

廣澤隆之先生のプロフィール
● 大正大学名誉教授
● 浄福寺住職

新客殿・寺務局再建工事資金ご寄進のお願い

再 建 工 事 趣 意

高幡山明王院金剛寺は江戸時代安永八年（一七七九）の大火で一山の総本堂大日堂をはじめ、奥院の伽藍十数棟を焼失致しました。

その後徐々に復興に向かい大日堂・檀信徒の総合受付所宝輪閣・奥殿・大師堂・聖天堂と歴代の住職の努力により境内の伽藍もようやく整備出来、あとは昭和四十一年～四十七年に建てられた客殿・寺務局のみとなっております。寺務局に至っては一階の駐車場を寺務局に改装し現在に至っております。地震の災害等が増えている中、耐震設備がない状況であります。依って当山では本年度から新客殿・寺務局の本格的再建工事にとりかかることになりましたので、御信徒の皆様方におかれましては、御意を、ご賢察の上、格段のご支援を賜りますようお願いして御願ひ申し上げる次第でございます。

公 告

宗教法人金剛寺は、左記の通り主要な境内建築物の新築をすることになりましたので宗教法人法第二十三条の規定によって公告します。

宗教法人金剛寺

代表役員 杉田純一

記

・名称 客殿・寺務局
・構造 地上三階・鉄骨造
・延床面積 八六九・二四坪
・施工者 株式会社藤木工務店
東京支店

工 事 概 要

工事名称…新客殿・寺務局再建工事

工事期間…令和七年四月一日～

令和九年三月三十一日

設計監理…株式会社文化財工学研究所

施 工…株式会社藤木工務店東京支店

建物概要…地上三階・鉄骨造・エレベーター完備

建物規模…延床面積 八六九・二四坪

(二八七三・五三㎡)

建築面積 三二三・三一坪

(一〇三五・七二㎡)

主要構成…一階 寺務室・執務室・製札作業室・

厨房

二階 大広間・多目的洋間・会議室

三階 貴賓室・教学研究所・会議室

事業費…三〇億円

落慶法要…令和九年秋

工事資金勧募…

令和九年三月三十一日まで

一口 一〇、〇〇〇円（何口でも可）

※お申し込みは、同封の再建資金申込書をご利用下さい。





千体地藏尊総回向法要 4/29

高幡不動尊 フォトニュース



骨董市の風景 4/29



江戸消防記念会の木遣り奉納 4/28



火災予防運動の土方歳三さん 3/4



高幡山遍照講の詠歌奉詠～花まつり法要 4/8



特殊詐欺撲滅キャンペーンパレード 5/9



階段を慎重に〜神輿練り 4/29



福栄講新世話人に委嘱状を授与 4/28



日野消防署防災訓練 3/24



新客殿建設工事安全祈願 3/23



七福神ぬり絵の展示 4/21



お母さんと一緒に〜稚児練り 4/28

夏の行事案内 (六月～八月)

◇六月

○1日(日) 30日(月) 高幡不動尊あじさいまつり

○8日(日) フリーマーケット

○14日(土)・15日(日) 高幡写仏会 講師 牧 宥恵先生 (下段参照)

○15日(日) 青葉まつり(弘法大師・興教大師ご生誕慶祝法要)
於 大日堂午後一時より

法話 講師

川崎大師平間寺総務部内務課長
朝日カルチャーセンター横浜教室講師
橋本 秀範先生

演題

お焚き上げ(午前九時)

○15日(日) ござれ市(がらくた市)《雨天決行》

○21日(土) 月例写経会(午後一時三十分) 法話 山内僧侶

○24日(火) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶

○28日(土) 月例祭(ご縁日)

◇七月

○13日(日) フリーマーケット

○15日(火) 孟蘭盆会法要(午前六時)

○20日(日) ござれ市(がらくた市)《雨天決行》

○21日(祝) 月例写経会(午後一時三十分) 法話 山内僧侶

○24日(木) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶

○28日(月) 月例祭(ご縁日)

◇八月

○15日(金) 孟蘭盆会大施餓鬼法要(午後一時)

法話 講師 八王子市福傳寺

演題

「明るく円満に生きるために」

○17日(日) ござれ市(がらくた市)《雨天決行》

○21日(木) 月例写経会(午後一時三十分) 法話 山内僧侶

○24日(日) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶

○28日(木) 月例祭(ご縁日)

高幡写仏会のお知らせ

自分の手で仏様のお姿を写経のように写して、その後、御本尊不動明王に奉納する写仏会です。

当山では年二回(あじさいまつり・もみじまつりの会期中)写仏布教の第一人者、画僧牧宥恵師を招いて開催しています。写仏前の御法話も人気があります。是非この機会に御参加いただき、お不動様との法縁と写仏を自身の浄行とされ御本尊不動明王のご加護を授け下さい。

記

日時 六月十四日(土)・十五日(日)

午後一時～午後四時(受付 正午より)

会場 五重塔千体地藏堂(両日共、牧宥恵師の作品を展示します)

内容 午後一時 法話

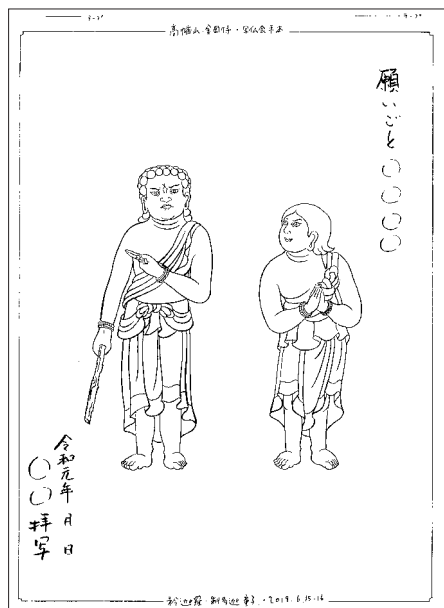
午後二時 写仏

午後四時 写仏奉納大護摩修行

会費 式千円(材料費含む)

◇お申込み・高幡不動尊事務局まで

電話 〇四二―五九一―〇〇三二



「制吒迦童子・矜羯羅童子」
牧宥恵先生ご染筆の写仏お手本

山内八十八ヶ所

巡りクイズ

多摩丘陵の一角を占める高幡不動尊、三万坪余りの境内は千古の緑に包まれ四季折々の花木を楽しむことができます。裏山には明治四十二年開設の山内八十八ヶ所の弘法大師像がまつられており森林浴を兼ねてのお参りは約一時間。あじさいまつり期間中巡拝路沿いに十間のクイズが出され、毎年大勢の方がクイズを楽しみながら参拝されます。解答用紙は、不動堂前、五重塔外階段下、大日堂、大師堂、交通安全祈願受付所、山内八十八ヶ所一番札所に置いてあります。解答は事務局か宝輪閣受付へお持ち下さい。尚、正解者の中から抽選で一五〇名の方に賞品を差し上げます。



あじさいまつり 諸行事案内 (六月一日～三十日)

- 山内八十八ヶ所巡りクイズの会 (毎日)
- 奥殿特別寺宝展及び鳴り龍拝観 (毎日)
- 茶庭拝観 期間中の土曜・日曜日
- 薄茶接待 期間中の土曜日・日曜日 (高幡山茶道教室ご奉仕)
(一服五〇〇円)
- リサイクル・フリーマーケット(雨天中止) 六月 八 日 (日)
- 高幡写真会 六月十四日 (土)・十五日 (日)
- 青葉まつり(両祖大師ご生誕慶祝法要) 六月十五日 (日)
- ござれ市(がらくた市) 六月十五日 (日)
- 月例写経会(山内僧侶法話午後一時三十分より) 六月二十一日 (土)
- 千体地藏尊月例法要 六月二十四日 (火)
- ご縁 日 六月二十八日 (土)

あじさいまつり写真コンクール作品募集

テーマ①あじさいの部...令和七年のあじさいまつり期間中の高幡不動尊及び門前町の行事・風物や、あじさい等の作品

び門前町の行事・風物や、あじさい等の作品

②四季の部...令和六年七月以降の高幡不動尊及び門前町の四季の風物、行事等の作品

季の風物、行事等の作品

サイズ カラープリント「六ツ切以上四ツ切迄・ワイド可・A4・A3」

締 切 令和七年六月三十日(月) 必着

応募規定①期間中に撮影の自作品(未発表のもの)

②作品ごとに応募票を貼付 ③資格は高校生以上

④作品に関する肖像権は応募者本人の責任となります。

尚、応募作品は原則として返却致しません。

入選発表 八月上旬に郵便でお知らせ致します。

※本年の表彰式は客殿建設工事の為中止させていただきます。

あじさいまつり俳句・短歌大会作品募集

兼題 高幡不動尊境内及び門前町の四季囀り作品(未発表作品に限る)

応募 一組 二句又は二首(一人何組でも可)

用紙 規定の用紙又は二〇〇字詰め原稿用紙(B5版)使用のこと。

入花料 投稿時納入 俳句・短歌とも一組一〇〇〇円

(但し記念大会参加料を含む)

投稿先 〒一九一〇〇三

締切 日野市高幡七三三 高幡不動尊あじさいまつり事務局宛

選者(肩書等略・五十音順)

俳句 大竹多可志・才野 洋・笹木 弘・鳥居真里子・暮目良雨

短歌 狩野一男・長澤ちづ・森本 平の諸先生

福神規子・星野高士の諸先生

短歌 狩野一男・長澤ちづ・森本 平の諸先生

掲出 入選作品は九月末日まで宝輪閣に掲出する。

※本年は表彰式及び記念大会は客殿・寺務局棟建設工事のため

中止させていただきます。



ご参拝には電車・バス・モノレールをご利用下さい
京王線・多摩モノレール線高幡不動駅下車すぐ

令和7年あじさいまつりポスター
「境内を彩る」あじさいの部 佳作
市川市 藤代 茂

ご奉納御礼

左記ご奉納頂き大変有難く厚く御礼申しあげます。(敬称をすべて省略させていただきます)

境内整備緑化資金

寄進者芳名

(令和七年二月一日～四月三十日)

日野市 伊 東 春 雄

幟旗奉納者芳名

(令和七年二月一日～四月三十日)

足立区 傳 野 充 弘
北 区 富 海 菜 美
世田谷区 山 中 雅 晶
世田谷区 山 中 晴 湖
日野市 有 泉 雅 弘
昭島市 大 野 仁
川口市 佐 藤 瑞 生
川口市 佐 藤 かのん

一、品名 椿十九鉢

奉納者

町田市 吉 原 辰 男



あじさいまつり開運御守

一体七〇〇円

あじさいまつり期間限定にて授与しております。



紫陽花不動香発売

一箱 一、五〇〇円 (六・七月限定)



清浄塗香

五〇〇円

塗香とは身を清める為に塗るお香で、お護摩修行の際にお授けしているものです。



あじさいまつり参拝切絵

朱 印

六月一日から、あじさいまつり参拝の切絵ご朱印を授与致します。

数量限定の特別ご朱印ですので、参拝の証としてお受けいただくことをおすすめします。



※寺務局のご朱印所(五重塔地階)にてお授けします。混雑が予想されますので、時間に余裕を持ってお越し下さい。

※一枚 一、〇〇〇円

「多摩八十八ヶ所巡拝のしおり」刊行のお知らせ

平成四年に出版された「多摩八十八ヶ所巡拝のしおり」を再編し、新冊子として刊行致しました。お大師様の信仰を深め八十八ヶ所巡拝をされてはいかがでしょうか。



一部 一、〇〇〇円

電話 〇四二五九一〇〇三二

龍華会まで

御詠歌始めませんか

『密厳流御詠歌』講員募集のご案内

御詠歌とは和歌調の詞に節を付け鈴・鉦を使ってお唱えする仏教歌で、青葉まつり・大施餓鬼会などの法要でお唱えします。高幡山では次のとおり御詠歌の新講員を募集しますので、大勢様ご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

- 一、名 称 遍照講高幡山支部
一、参加資格 どなたでもご参加いただけます
一、指 導 密厳流遍照講師範
一、会 費 一ヶ月 三、〇〇〇円
(但し、鈴・鉦などの道具は別費)

一、稽古日時 月二・三回 午前十時～十二時
問い合わせ先 高幡不動尊内「遍照講高幡山支部」

電話 〇四二五九一〇〇三二

〓 献花のおすすめ 〓

お花講講員の募集

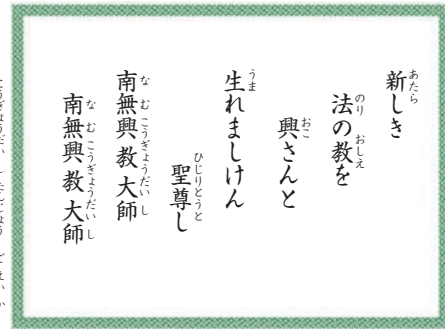
当山ではお花講講員の皆さま方の会費により、山内全ての伽藍のお花を飾らせていただいております。大勢様ご入講下さいますようご案内申し上げます。

記

- 一、名 称 高幡山お花講
一、会 費 一ヶ月 五〇〇円

※入講は随時承っております。

ご入講の皆様には輪袈裟を授与します。



「興教大師誕生の御詠歌」

青葉まつり記念法話

- ・日時 六月十五日(日) 午後一時から
・会場 大日堂(聴講無料)
・講師 川崎大師平間寺総務部内務課長 朝日カルチャーセンター横浜教室講師 橋本秀範先生



平成十五年より現在に至るまで児玉義隆師(梵字悉曇学第一人者 種智院大学副学長)に師事し、梵字悉曇を学ぶ。「監修『梵字のきほん 歴史から意味、読み書きまで理解を深める手引き』令和4年 メイツ出版」
・演題 「梵字悉曇のお話」

大施餓鬼会記念法話

- ・日時 八月十五日(金) 午後一時から
・会場 大日堂(聴講無料)
・講師 真言宗智山派特派布教師 真言宗智山派布教師養成所講師 真言宗智山派教師講習所講師 多摩少年院教誨師



八王子市 福傳寺
吉野孝壽先生
・演題 「明るく円満に生きるために」

境内の夏の植物をお楽しみ下さい



ナツツバキ



キキョウ



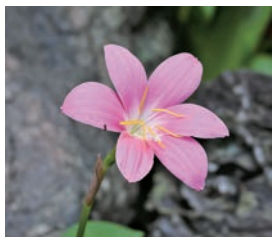
ナツズイセン



ナツハギ



サルスベリ



サフランモドキ



オミナエシ



ネムノキ



カライトソウ



キツネノカミソリ



ミソハギ



ヒオウギズイセン



ヤマユリ



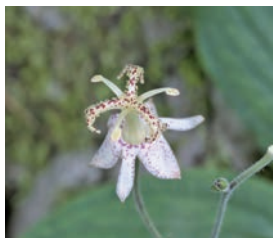
タカサゴユリ



シュウカイドウ



キンシバイ



ヤマホトトギス



ヤブミョウガ



ハス



ニッコウキスゲ



ヒオウギ



クサギ



ニトベギク



タマアジサイ

諸行事に参加して

稚児行列 (4/28)

立川市 渡邊 広暉
特別な衣装に身を包み、一生懸命お化粧をした子供たちが、厳かな雰囲気の中、可愛らしい行列を作っている姿に大変感動しました。貴重な体験をさせていただきました、ありがとうございます。

国分寺市 杉本 知洋

貴重な体験が出来たこと、とても有意義な時間でした。子供にとっても多くの人に見られる体験、普段と違う格好で歩くことなど新鮮な時間を過ごせたと思います。



府中市 齋藤万祐子

コロナ禍で三年前は諦めていたお稚児さんの行列ですが今回参加させていただきました。本当にありがとうございます。お坊さまも若い方からベテランの方まで丁寧に案内してくださり、取り仕切っていたいて感謝しております。

日野市 飯島 燈凜

あばれて大変だったけど、頑張っている姿が見られて良かったです。ありがとうございます。

相模原市 青木麻里絵

普段出来ない経験ができて良かったです。男の子なのでメイクなども新鮮でした。

国分寺市 杉本 まな

お祈りしてくれて、ありがとうございます。お着物が慣れてなくて苦しいと言いながらも頑張りました。

神輿パレード (4/29)

日野市 葭本 愛里

五重塔の方に神輿が上がっていったのが、すごく良かったので、今後もこのコースでやりたいです。

日野市 齋藤 香織

高幡不動尊の方々が、参加者の安全を見守ってくださっていて、有難かったです。五重塔の方に登る試みも楽しかったです。ありがとうございます。

日野市 高橋 友美

五重塔を回り楽しかったです！大変だけども良かったと思います。また来年も盛り上がりたいですね！



横成体・間留 花材／銀葉、アザミ
テキスト「ときめきの花」より

大賞寺門跡推薦教室 いけばな嵯峨御流

【第6回】

寺務局・ご朱印所 移転のお知らせ

客殿・寺務局棟建設工事に伴い、寺務局・ご朱印所を五重塔塔院地下ホールに移転致しております。
入口は段差が多い為、車イス等をご使用の方は、宝輪閣へお問い合わせ下さい。

月例写経会のお知らせ

建設工事に伴い写経会を左記のように変更致します。

記

一、日時 毎月二十一日
十三時半から

一、会場 五重塔千体地藏堂
(受付は五重塔寺務局)

一、人数 五十名(事前予約制)

※一ヶ月前よりお電話等にてお申し込み下さい。

空けますが、これは水の存在を示し、かつ作陶家への敬意を表しています。

嵯峨御流伝書初伝竹之巻、瓶花之部に「瓶花の本意」が記されています。

「瓶花の尊き所以はその韻致にあり、繁あり、閑あり、華麗あり、肅然たるあり、時に濃艶を以てすれば、又淡雅を以てす。華美あれば清楚あり、比々趣たらざるはなし、今一つ枝を剪りて瓶に挿すに枝多きは之を截り少きは補う又枝多きも截り難きものあり少なき添え得ざるあり。之みな自然の趣きなればなり」

嵯峨御流華道芸術学院教授

納富貴甫

今回は当流の「瓶花」についてお話しいたします。
瓶花とは、自然の生態の中から生まれた草木のひと振りの枝の美しさを瓶花器に移し取っていけ表していくもので

す。そしてそのひと振りの枝の美しさをさらに増幅、増長させるために留花があります。つまり、瓶花器を用いながら、主体となる枝振りとそれを際立たせていく留花とで姿を整え、簡潔にいけ表していく花が「瓶花」なのです。留花は主体となる枝とは異なる花を用いて、その枝の足元あたりに挿し、全体を引き締めて働かせます。さらにこの留花は瓶花器の口元を隠す役目を持っています。当流では正面から見て、主体の枝の降り出す方向と逆の花器口を1/2から1/3

山内消息

しょうみえくほうよう
正御影供法要

三月二十一日午前七時、大日堂にて正御影供法要を勤修し、真言宗の宗祖弘法大師様への報恩の誠を捧げました。御影供はお大師様が入定されて七十六年目の延喜十年(九一〇)三月二十一日、京都の東寺にある灌頂院にて、当時の長者である観賢僧正がお始めになられたといわれ、現在では多くの真言宗寺院にて勤められております。

(佐竹智記)

多摩八十八ヶ所

巡拝はじまる

東は武蔵野市から西は檜原村までの真言寺院八十八ヶ寺を巡る多摩八十八ヶ所巡拝が四月からはじまりました。今年には三名の先達のもと、初心の方やベテランの方など三十一名の方が参加され、それぞれの願いを心に秘め約半年をかけて成満を目指します。無魔成満となりますよう御祈念いたしております。

(松本記)

花まつり法要

四月八日、沢山の綺麗な花を飾り荘厳した花御堂の中央



花御堂の誕生仏

に誕生仏を安置し、お釈迦様のご誕生を祝う花まつり法要を勤修しました。

法要は午前十一時から不動堂の花御堂にて灌仏会の読經と遍照講高幡山支部の皆様による御詠歌「釈迦牟尼如来誕生和讃」が奉詠され、参列された方々には、お釈迦様に甘茶をそそぎ、お誕生を祝うとともに御縁を結んでいただきました。

(丸山幸記)

東京日護摩講依嘱状伝達式

四月十三日、東京日護摩講宍戸三郎様新講元就任、並びに島田三郎元講元様への感謝状伝達式が行われました。

当日は講員皆様でご来山いただき、大護摩修行にて講社の繁栄、講員皆様の安全をお祈り致しました。

(野村記)

深大寺新ご住職就任

四月二十日、深大寺第八十九世に張堂興昭御住職が就任され、晋山披露宴が京王プラザホテル東京にて行われ、当山貫主が出席致しました。

深大寺様とは、かつて当山の住僧乗海が発願した不動堂の復元を計る応永二十二年(二四一五)の勸進状では、深大寺第五十二世長辨により文案作成されたという経緯もあり、古来より御縁の深い御寺様でございます。益々のご活躍と寺門繁栄をご祈念致しております。

(百戸記)

吉田宏誓大僧正ご来山(42)

真言宗智山派次期管長現下にご就任される吉田宏誓大僧正様が来山されました。大僧正は埼玉県本庄市の宥勝寺ご住職で、当日は地元埼玉第九教区の服部元俊教区長様とともに来山され、御挨拶をいただきました。

(上田記)

おみがき(425)

春季大祭の前に山内の全ての仏器を磨く「おみがき」を行いました。遍照講高幡山支部の御詠歌の皆様方にお手伝いいただき仏器をピカピカに磨きあげ、仏器とともに心も洗われ



吉田大僧正(右からお二人目)

新鮮な気持ちで春のお祭りを迎えることができました。

(伊大知記)



千体地藏堂でのおみがき

福栄講依嘱状伝達式(428)

この度、福栄講話人として永年お就めいただいた坂本昭様のご退任に伴い、古谷清一様の新世話人依嘱状伝達式が春季大祭に合わせ執り行われました。当日は貫主より依嘱状が授与され、今後は福栄講の世話役として活躍いただきます。

(野村記)

ひの新選組まつり

「第二十八回ひの新選組まつり」が五月十日(土)・十一日(日)の二日間盛大に執り行われました。

十日に大日堂にて新選組総回向法要を勤修。午後には七生公会堂にて隊士コンテストが行われ、翌十一日、日野宿会場の甲州街道にて隊士パレードが行われました。

(清水順記)

奥殿だより 第十二回

不思議な画家田公実

(その一)

當山には、多数の文化財が所蔵されております。絵画においても、仏画は勿論のこと花鳥風月を画いたものなども多数あります。

當山に最も多数の絵画資料を残したのが、田公実です。十七点の作品が日野市の有形文化財として指定されております。

更に奥殿の整理作業に伴い、二〇二二年に芝山仁王尊の素描が新たに二点が発見され、同年十二月より展示しました。

今年に入り、新たに當山の不動三尊の素描六点が確認

されました。それらの素描を合わせると、二十五点もの作品があります。

左に掲載した龍図は、以前にも展示したことがあります。すが、巾四尺余、長八尺弱の大幅です。その他、弘法大師像や六道出現地像菩薩像の仏画類をはじめとして、梅鶯図、花鳥図、雁図、松月図等、様々な画題の作品が残されております。

作品の画題は幅広く、下掲の滝図を見ると水墨画法にも通じていることが見て取れますが、特定の流派の特徴を見て取ることは出来ません。

落款には、「法眼田公実製」、「安政四丁巳初夏法眼遜齋公



龍図



弘法大師像

実謹拝製」、「法眼遜齋公実製」などがあり、又印章には、「田公実印」、「法眼遜齋」、「法眼公実」などが見られます。

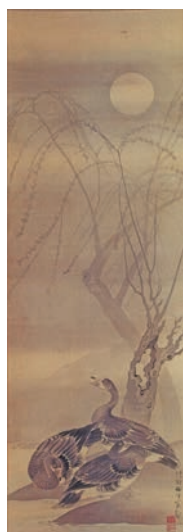
このように、田公実は當山に多くの作品を残し、その作品を見ても職業絵師であることは間違いないでしょう。又、「遜齋」の号を有している、詐称でなければ法眼位も叙任されていた人物であります。法眼は、本来は法印、

法眼、法橋という僧位の一つでありましたが、平安時代後期以降江戸時代にかけては、仏師や絵師、医師などにも授けられました。勿論、誰でも得られる「位」ではなく、これらの「位」を授けられることは、大変名誉ある事でありました。

これらからすると、それなりに活躍して広く知られていた絵師ではないかと思わ

れますが、當山以外には作品が殆ど遺存しておらず、江戸時代に盛んに作られた画史画伝類にもその名をとどめていない不思議な画家であります。

落款からすると、安政四年（一八五七年）には當山に滞在して、多くの作品を画いていたことが知られます。「田公実」と名乗っており、



雁図



滝図

中国風に、「田」の一字を持つて名乗っていた可能性ががあります。当時の武士や文化人等は中国文化への憧憬から、自らの二字以上の姓から一字をとって名乗ることがよくありました。勿論、画家の間でもそのような中国趣味の名乗を使用する者がありました。

「田公実」も姓の内から「田」の一字を取って使用していた可能性が考えられます。雁図の上端裏面には「木田由美」の墨書が見られますが、旧所蔵者であるとか寄進者の名前であると考えられます。

(未完、次号に続く)
(藤井和夫記)

高幡いきもの曼荼羅 ③①

高幡不動尊の境内を散策していると、かなりの確率で様々な「いきもの」に遭遇します。それは豊かな自然の現れであると同時に中には神仏の遣いの「いきもの」たちがいます。神仏の遣いや眷属と言われる「いきもの」には様々な由来があります。またその存在を言語化することが即ち信仰の原点でもあり、ひいては森羅万象の「理」を浮かび上がらせることが出来るのです。

例えば、弁天池にアオダイショウが生息しているのはまさに象徴的で、そこでは生態系を司る頂点として弁財天様をいただくことでアオダイショウの時間的・空間的存在の座標がピタリと当て嵌まります。

八咫鳥の例を挙げるまでもなく、カラスは神の遣いであり、私達に何かを予感させることの多い「いきもの」です。また鳩が平和の象徴とされるのは旧約聖書にオリブを咥えた鳩が登場することからですが、わが国に於いても鶴岡八幡宮に代表されるように八幡様の遣いとしての鳩が神域の保護下で繁栄していったのです。

このように私達に馴染み深い「いきもの」

なにげなくつかっている仏教のことば—噫(くしやみ)

「くしやみ」の語源にはいく

つかの説があります。クシユンやクシヤンといった擬音から派生したとの説、また、古代において、くしやみをする鼻から魂が抜けて寿命が縮まると信じられており、そこで「くさめ」という呪文を唱えて、早死にを避けていたことによるとの説が

あります。

さらに有力とされているのが、インドのサンスクリット語(クサンメ)が転訛して「くしやみ」となったという説です。これは、お釈迦さまが説法の際にくしやみをしたら、弟子たちが一斉に「クサンメ! (長寿あらんことを!)」と、心からの願

いを言葉にしたことによるとの説です。

どの説にも説得力があり、これらの説が組み合わさって「くしやみ」という言葉が生まれたのかもしれない。

(小林靖典)

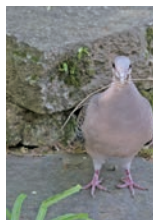
こそが高幡不動尊をはじめとした聖域、神域といったサステナブルな信仰の場を形成するのに欠かせないのではないのでしょうか。私達は目立つことなくひっそりと暮らす神聖な「いきもの」たちの存在を意識し、またお稲荷さんの「稲荷狐」のようにお姿をお供えすることで、お詣りにあたって更なる信念とご利益を授かることが出来るのだと思います。さてお寺の「いきもの」と言えば獅子・龍・木魚など様々ですが、これはまた次の機会に。



ハシブトガラス



アオダイショウ



キジバト

お不動さま教えて?

質問 お不動さまのお護摩の法要では、どのようなお経が唱えられているのか、また、その意味内容はどのようなものなのでしょうか。どうかお不動さま教えてください。(前号のつづき)

お答え

はい、お答えします。

前号では《お不動さまの真言》の内容についてお話をしました。つぎに唱えられるのは《諸祈願》です。

ご信徒の皆さまがお申し込みになったお護摩札のお加持が一段落する頃合いを



大金剛輪陀羅尼を唱えるのは、金剛輪が完全性を象徴していること

見て、経頭(最初)に声を発する役僧(は)は錫杖を鳴らし、《お不動さまの真言》を止める合図をいたします。続いて行われるのが《諸祈願》です。これは、お護摩の法要にご参列されている皆さまお一人おひとりの願い事を、心を込めてご祈願する大切な時間です。

高幡のお不動さまでは、まず「世界平和」「国家安穩」「被災地復興」「災害消除」「疫病退散」を祈願し、その後「厄災

消除」「家内安全」「交通安全」「商売繁昌」「病氣平癒」「合格成就」「開運出世」などを順にご祈願いたします。最後に「一心祈願各願成就」と、重ねて諸々の願いごとを総じてご祈念いたします。

次に唱えられるのは、《大金剛輪陀羅尼》です。この陀羅尼(比較的長めの真言)は、わたしたち衆生の罪障を打ち破るとされる、金剛輪(堅固な車輪)を持った菩薩の功德を讃えるもの

です。この大金剛輪陀羅尼を唱えるのは、金剛輪が完全性を象徴していることから、このお護摩の法要が無事に成し遂げられ、願いが必ず成就するよう、補完の意味を込めてお唱えします。

その次に唱えられるのは、《一字金輪真言》です。これは、すべての仏菩薩の功德を一字、すなわち大日如来に摂し尽くした真言です。そのため、この真言を唱えることにより、必ず願いが成就すると信じられています。

(次号につづく)

御護摩料改定のお知らせ

当山では世界平和・御信徒安全をはじめ、御本尊不動明王様に皆様方の諸願成就の御護摩を毎日ご修行しております。

令和七年十月一日より、御護摩料を改定致しますので、御信徒の皆様にお知らせ致します。



大護摩札
(約58cm)

30,000円以上



中護摩札
(約52cm)

(改定前) 10,000円
↓
(改定後) 15,000円



御護摩札
(約45cm)

(改定前) 5,000円
↓
(改定後) 7,000円



御護摩札
(約37cm)

(改定前) 3,000円
↓
(改定後) 5,000円



懷中札
(約11cm)

(改定前) 3,000円
↓
(改定後) 5,000円



交通安全札
(約15.5cm)

(改定前) 3,000円
↓
(改定後) 5,000円

御◆案◆内

交通安全祈願

午前九時～午後五時
午後四時半までにお申込下さい。

御護摩修行

○平日 八時・十時・
十一時半・一時・三時

○土曜・日曜・祝日

八時・十時・十一時半・
一時・二時半・四時

○但し一日、十五日の午前中は
五時・十時・十一時半

○ご縁日(二十八日)

五時・九時・十時・十一時・
十二時・一時・二時半・四時

○御護摩料 本年十月一日
より改訂致します。詳しく
は上記の改訂表をご覧ください。

ご縁日 毎月二十八日

境内に市が立ち参道は歩行者天国になります。

フリーマーケット(リサイクル市)

毎月第二日曜日(雨天中止)
ござれ市(がらくた市)

毎月第三日曜日(雨天決行)
お焚き上げ

毎月十五日午前九時

月例写経会

毎月二十一日午後一時半

千体地藏尊月例法要

毎月二十四日午後二時

奥殿拝観(月曜休館)

午前九時～午後四時

拝観料 五〇〇円

大日堂 鳴り龍・襖絵拝観

午前九時～午後四時

参拝料 三〇〇円

(月曜休館)

尚法要中は拝観一時休止になりますのでご諒承下さい。

編集室だより

梅雨の季節がやってまいりました。気象庁から五月十六日に九州南部が梅雨入りをしたとみられるとの発表があり、九州南部が全国トップの梅雨入りとなるのは史上初めてのことです。今年は、明治八年六月一日に現在の港区虎ノ門にて東京気象台が気象業務を開始して一五〇年の節目の年だそうです。近年ではAIやビッグデータの技術により気象予測が高精度となりましたが、ゲリラ豪雨や夏の猛暑が心配です。活き活きとした山の紫陽花は、そうした私達の心を癒してくれます。

発行所

〒191-0031 東京都日野市高幡733

別 格 本 山

高 幡 山 金 剛 寺

電 話 (042) 591-0032(代)
FAX (042) 593-3038

発行人 黒川 高德
編集人

年4回発行・再生紙使用

高幡不動尊境内略地図

山内八十八ヶ所とあじさいマップ

可憐な山あじさい(6月上旬・中旬)
あじさい、がくあじさい(6月中旬・下旬)
彼岸花(9月中旬・下旬)

山内八十八ヶ所巡拝路
四季のみち
あじさいのみち

- 不動堂……毎日護摩修行・新丈六不動三尊参拝
(どなたでもご参加頂けます)
- 奥 殿……日本一の不動三尊(重文)・大日如来像(平安時代中期)
ほか指定文化財・新選組資料・寺宝多数展示
- 大日堂……鳴り龍・新選組位牌等多数展示
- 五重塔地下…寺務局・ご朱印所

- 御護摩修行
- 平日 8:00・10:00
11:30・1:00・3:00
 - 土曜/日曜/祝日
8:00・10:00・11:30
1:00・2:30・4:00
 - 但し1日、15日の午前中は
5:00・10:00・11:30
 - ご縁日(28日)
5:00・9:00・10:00・11:00
12:00・1:00・2:30・4:00
- 交通安全祈願
午前9:00～午後4:30(30分毎)
受付は各回10分前までにお申し込み下さい。
- 月例写真鑑賞会
毎月21日 午後1:30
- 千代地蔵尊月例法要
毎月24日 午後2:00

フリーマーケット(リサイクル市)
毎月第2日曜日(8月はお休み)
ござれ市(からくた市)
毎月第3日曜日

別格本山
高幡山 金剛寺
〒191-0031
東京都日野市高幡733

電話 (042) 591-0032(代)
FAX (042) 593-3038



毎月28日
歩行者天国